

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 9 月 2 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	川口ゆり

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
東京、日本
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
学会 (行動 2017 参加)
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 8 月 29 日-9 月 1 日
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
なし
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
8 月 30 日からの 3 日間、東京大学で開催された「行動 2017」に参加した。本大会は私の所属する日本動物心理学会をはじめ 5 大会合同の学会であり、600 名以上が参加したようだった。私は初日の最初に“Reward Value of Conspecific Infants in Chimpanzees”という題で口頭発表をおこなった。データ自体があまり良い結果ではなかったものの発表自体は問題なく終わらせることができた。 参加者も多いためか口頭、ポスターともに興味深い発表が多かった。口頭発表では鳥類のナビゲーションの研究や動物園エンリッチメントに対して行動データから評価をおこなったものが個人的に興味深かった。ポスター発表ではチゴガニの同調行動やシジュウカラの音声に関する研究が面白かった。

会場の東京大学
6. その他 (特記事項など)
また今回の出張は PWS プログラムの支援を受けておこないました。記して感謝申し上げます。